



台湾ビジネスを成功に導く！日系企業の SEO 対策

株式会社クララオンライン
コンサルティングチーム

データ協力：クロスフィニティ株式会社

<要約と結論>

台湾 SEO を考える上で、Google と Yahoo!奇摩の両方に対策を行うことが欠かせない。日本の Yahoo! は Google の検索エンジンを採用しているため、Google に対応するだけで済むが、台湾の Yahoo!奇摩はマイクロソフトの Bing を採用していることから、台湾においては Google と Bing の両方を分析し、適切な SEO 対策を行う必要がある。なお台湾以外にも、香港、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムが Bing を利用している。中華系ユーザーが多い地域でもあり、台湾の SEO 対策により香港など他地域の順位が上がることも多い。

台湾の SEO 事情は日本より 4~5 年遅れている状況で、現地の SEO 会社の中には日本ではもう用いられない手法や不正と判断されかねない手法を使っている場合も見受けられる。また日系企業がよく失敗する例として、日本で効果のあるキーワードをそのまま翻訳して用いることが挙げられる。日本人と台湾人とでは検索傾向が全く違うため、それぞれの特徴に合った対策を施さなければ効果はあがらない。また同じ中国語を使うからと大陸出身の中国人スタッフを担当者にすることがよくあるが、大陸と台湾では同じモノでも言い方が異なる場合があり、キーワードの選定には十分な注意が必要だ。

台湾 SEO を成功に導くためには、台湾でよく使われるキーワードを見極め、Google と Yahoo!奇摩のそれぞれに適切な対策を行うことが重要となる。さらに SEO の効果を上げるためには、台湾独自ドメインの取得が欠かせない。日本向けサイトとはきちんと切り分けた方が対策をしやすく、より良い効果が得られるからだ。またサーバのレスポンススピードも順位に影響するため、中国マーケットをも視野に入れる EC 関連のサイトなどは、中国大陸からのアクセスも良好な台湾に現地サーバを置くことも有効だ。台湾に進出する日系企業は、価格の面から台湾のローカル SEO 会社を利用しがちだが、最新の SEO ノウハウを持ち、現地にも拠点がある日系 SEO サービスを選択することがより望ましい結果につながると考えられる。

1. 台湾の検索エンジン事情

台湾では Google はもちろん、台湾最大の検索・ポータルサイトである「Yahoo!奇摩」、ネットショッピングでも有名な「PChome」、「yam 天空」、「MSN」などがよく利用される。とりわけ人気があるのは Google と Yahoo!奇摩で、それぞれ 31.8%、50.1%のシェアを持つ（アウンコンサルティング調べ、2012年11月）。データによっては Yahoo!奇摩のシェアが 70%を超えている場合もある。

SEO対策においても、Google と Yahoo!奇摩を必ず押さえる必要があるが、日本のSEO対策と同じ手法をそのまま用いても効果は無い。日本の Yahoo!は Google の検索エンジンを利用しているため、Google のアルゴリズムを分析すれば Google と Yahoo!のどちらにも対応できる。しかし台湾の Yahoo!奇摩は、検索エンジンにマイクロソフトの Bing を採用しているため、台湾においては Google と Bing の両方のアルゴリズムを分析し、それぞれに適切な SEO 対策を行うことが肝心だ。



<http://www.google.com.tw/>

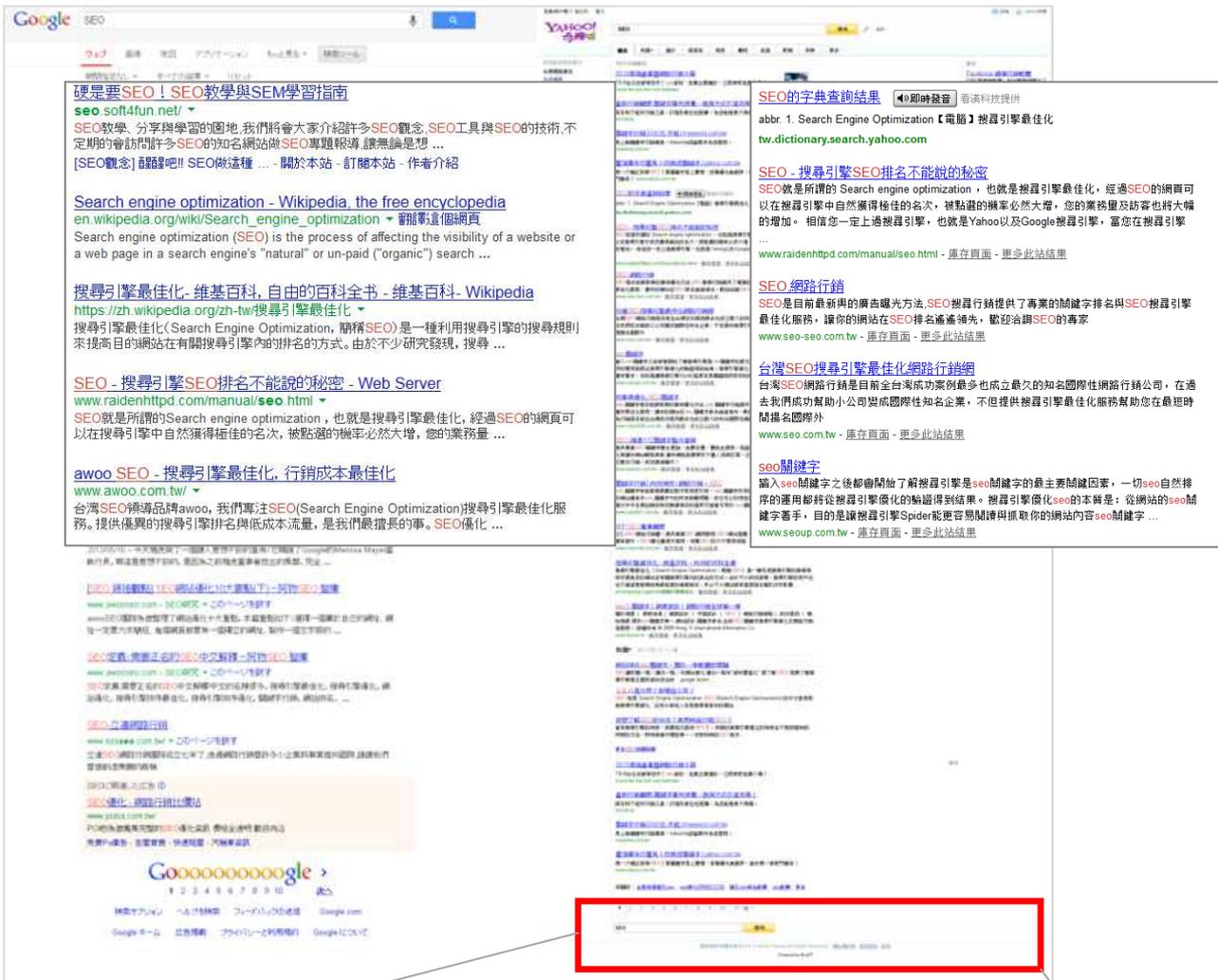


<http://tw.yahoo.com>

また、異なった検索エンジンを採用していることから、Google と Yahoo!では同じキーワードを検索しても当然表示される結果が異なる。たとえば「SEO」というキーワードで検索した場合、Google と Yahoo!の両方で 1 ページ目に表示されたサイトはわずか 1 つしかない。その他のキーワードでも同様に調査を行ったが、検索結果の重複率は高いものでも 30%、なかには全く表示される結果が異なるキーワードもあり、両方の検索エンジンで共に上位表示することはそれだけ難しいことだと言える。



Google と Yahoo!奇摩の「SEO」 検索結果例 (枠内は上位 5 件を拡大表示)



Yahoo!奇摩のページ下には「Powered by Bing」と表示がある

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行っていただくようお願いいたします。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。

2. 台湾の SEO 会社と SEO 対策の実情

台湾では最近になってようやく SEO が注目され始めたところで、実感としては日本に比べて 4~5 年遅れている状況だ。SEO に対する意識がまだ低く、対策を行っている企業が少ないことから、今ならばビッグキーワード（ビッグワード）を狙うことも十分可能だろう。

しかしローカルの SEO 会社の中には、すでに日本では用いられなくなった手法やスパム行為と認識されかねない手法で上位表示させている例がよく見受けられるため、ローカル SEO 企業の利用を検討する場合には十分な注意が必要だ。

具体的な例としては、リダイレクトサイトを用いた手法がある。通常 SEO とは、検索エンジンのアルゴリズム（順位決定のロジック）を分析し、そのロジックを元にサイトを構築して、検索結果の上位に表示されるよう試みることだ。しかしクロスフィニティ社の調査では、リダイレクトサイトを上位表示させてリダイレクトさせることで、あたかも顧客のサイトが上位表示されているかのように施策しているものが複数見つかっている。



このようなサイトは Google では比較的少ないようであるが、Yahoo!奇摩ではリダイレクトサイトが 1 ページ目に表示されているケースもある。自社サイトを変更することなく、簡単にトラフィックを増やすことを目的としたやり方と推測されるが、このような施策はいわゆるスパム行為（検索エンジンのアルゴリズムを欺く行為）と判断され、



中長期的に上位を維持し続けることは困難と思われる。

このほかサイト内部の施策についても問題が見受けられた。特に多かったのが、title タグとアンカーテキストや strong タグの同時使用だ。日本でも以前は同様の手法が用いられることがあったが、数年前に Google から順位を下げられてしまった経緯がある。日本ではすでに通用しない手法が台湾ではまだ健在なようだが、今後 Google が台湾にも同様のアルゴリズムを適用する場合を考慮した上で、サイト制作を行う必要があるだろう。

```
<header class="top_header_page">
<section class="top_header_box">
<h1 class="logo"><a href="#" title="CLARA ONLINE" /></h1>
<h2 class="sub_logo"><a href="#" title="CLARA ONLINE" /></h2>
<div class="search_page">
<p class="search_box">
<form name="formsch" action="search.asp" method="get">
<input class="form_txt" type="text" name="q" size="20" max onFocus="if (value == '---- Search ----') {value = 'Search ----'} /><input type="submit" name="button" id="button" value="" class="form_submit"/>
</form>
</p>
</div>
<nav id="top_icon">
<ul>
<!--
<li><a href="login_form.asp?height=250&width=400" title="CLARA ONLINE ログイン" class="thickbox"><strong>CLARA ONLINE ログイン</strong></a>
<li><a href="/register.asp"><strong>CLARA ONLINE 会員登録</strong></a></li>
-->
<li><a href="epaper_form.asp?height=250&width=400" title="CLARA ONLINE 電子紙" class="thickbox"><strong>CLARA ONLINE 電子紙</strong></a>
<!--<li><a href="products.htm" title="CLARA ONLINE 商品" /><strong>CLARA ONLINE 商品</strong></li>-->
<li><a href="news.asp" title="CLARA ONLINE ニュース" /><strong>CLARA ONLINE ニュース</strong></li>
<!--<li><a href="index.asp" title="CLARA ONLINE ホーム" /><strong>CLARA ONLINE ホーム</strong></li>-->
```

3. よくある日系企業の失敗例

日系企業が台湾向けの SEO 対策を行う場合によくある失敗として、日本で効果のあるキーワードを翻訳してそのまま利用する例が挙げられる。台湾人と日本人とでは、検索一つとってみても、入力するキーワードの傾向が違っている。日本人の場合、キーワードを複数組み合わせる検索することが多いが、台湾人の場合はビッグキーワード、単体キーワードを利用する傾向が強く、複数のキーワードを使うことが少ないようだ。さらに翻訳サイトなどで翻訳した単語は、台湾人が普段使う用語とは違う可能性もある。つまり、いくら日本で効果があるキーワードであっても、そのままでは十分な効果が望めなくなるため、キーワードの選定には十分に時間をかけたほうがいだろう。

また同じ中国語を使うからと大陸出身の中国人スタッフを担当者にする場合も注意が必要だ。中国大陸と台湾では同じ商品でも表現が違う場合があるため、台湾で用いられる繁体字の読み書きができるだけでは十分とはいえない（例：携帯電話は、中国大陸



では「携帯電話（移动电话）」だが、台湾では「行動電話」という。同様に、PCのウィンドウは、大陸では「窗口」、台湾では「視窗」。アプリケーションは、大陸では「应用程序（应用程序）」、台湾では「應用程式」という。台湾でよく使われる検索キーワードを精査し、その検索回数や競合の状況をしっかりと調査した上で、台湾に特化したSEO対策を行う必要があると言えそうだ。

4. 台湾における SEO 対策の効果

クロスフィニティ社が 2012 年末から約半年かけて実施した SEO 対策によって、対象サイトは Google で 1~2 カ月、Yahoo!奇摩で 3~4 カ月で順位が上昇している。

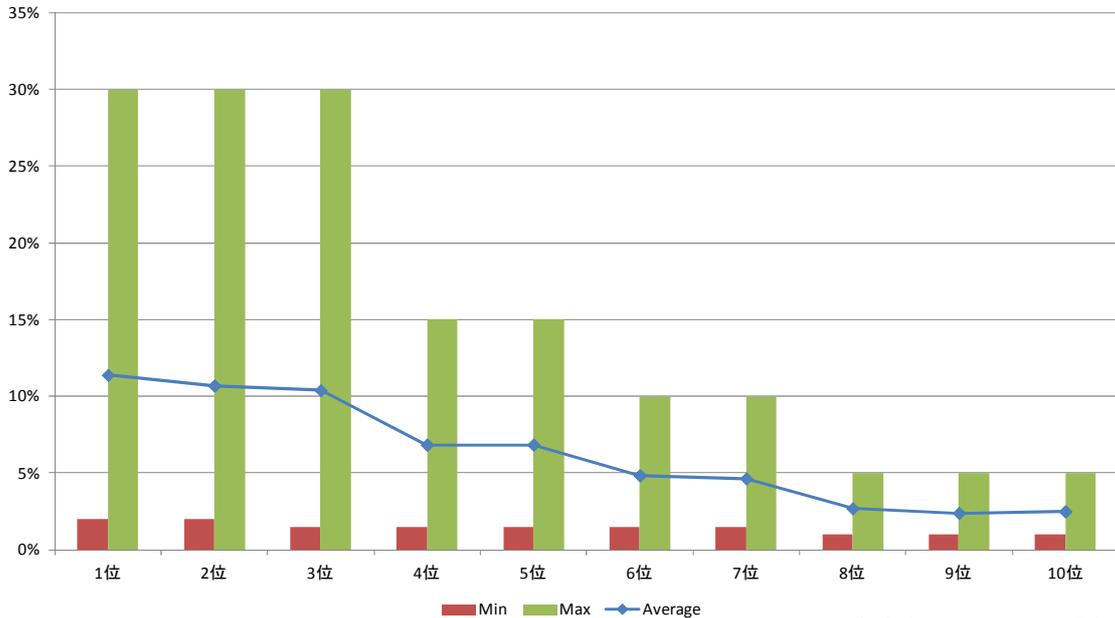
Google

キーワード	Before SEO (End of 2012)	After SEO (2013/2/25)	2013/3/25	2013/4/25	2013/5/25	2013/6/25
ssl 認証	100圏外	11	11	32	21	14
ssl 憑證 費用	51	4	4	4	4	2
ssl 證書	100圏外	4	4	4	3	4

Yahoo!奇摩

キーワード	Before SEO (End of 2012)	After SEO (2013/2/25)	2013/3/25	2013/4/25	2013/5/25	2013/6/25
ssl 認証	93	113	18	8	8	7
ssl 憑證 費用	28	23	21	18	23	22
ssl 證書	30	6	4	3	1	6

またクロスフィニティ社の台湾における SEO 実施実績から、順位別の CTR（クリック率）の差を調査した結果、平均的に見て上位 3 位以内に入れば 10%以上の CTR が見込めることが明らかになった。ただし同一順位であってもキーワードの種類（社名、ビッグキーワード、テールワードなど）によって CTR は大きく異なるため、どのようなキーワードを対策するかによりシュミレーションの数値が変わることに注意する必要がある。



作成: クロスフィニティ株式会社

5. 台湾 SEO で成功するために

台湾 SEO を成功に導くためには、これまで示したように台湾でよく使われる検索キーワードを探した上で、Google と Yahoo!奇摩のそれぞれに適切な対策を行うことが重要だ。ローカル企業がまだ SEO に積極的ではない今のうちに、率先してビッグキーワードを抑えることも先行利益を得るために不可欠と言える。

さらに SEO の効果を上げるためには、台湾独自ドメインの取得が欠かせない。サイトの運用・管理の面から見れば、グローバル統一ドメインが望ましいが、SEO を実施する上で（なかでも Google 以外の検索エンジンのシェアが高い場合には特に）、日本とは別ドメインでサイトを開設した方が良い。台湾においてはドメイン自体の運営期間の長さよりも、きちんと切り分けて台湾の事情に合った SEO 対策がしっかり行われているかどうか順位を左右する。また、意図せず悪質な外部リンクを受けてしまった際にも、別ドメインで管理しておいた方が安全だろう。さらにサーバからのレスポンススピードも順位に影響していると見られる。最近是中国大陸から台湾のネットショッピングを利用するユーザーも増加傾向にあることから、大陸からのアクセスが良好な台湾にサーバを置くことを検討に値するだろう。



台湾に進出する日系企業が SEO 会社を選択する場合、台湾に拠点をもち現地の事情に詳しいのはもちろん、日本を含めた最新の SEO 事情に精通し経験も豊富な日系の SEO サービスを選択するのがベストだ。価格の面では現地の SEO 会社に軍配があがるだろうが、これまで述べたような古い手法や不正に近い手法を用いている場合も多く、経験のある良い SEO 会社に出会わなければ長期的な SEO 対策にプラスになるとは言い難い。今のところ Google の台湾に対する優先順位は低いようだが、いずれは日本と同様のアルゴリズムを採用する可能性がある。世界でも先進的な SEO ノウハウを抱える日系サービスを選ぶことが、将来に渡って自社サイトの価値を上げ、台湾ビジネスに成功をもたらすことにつながるだろう。



クロスフィニティ株式会社について

クロスフィニティ株式会社は、オプトグループから 2006 年に誕生したサイト価値向上を支援するコンサルティング会社で、SEO を軸に制作から解析まで幅広いソリューションを提供している。国内約 1000 社の SEO 導入実績を強みに、2013 年 3 月 1 日には台湾法人「搜越股份有限公司」を設立し現地で SEO 関連事業を展開している。

【クロスフィニティ台湾】

会社名：搜越股份有限公司 Crossfinitiy Taiwan, Inc.
所在地：104 台北市中山區民權東路三段 35 號 11 樓
董事長：加藤 毅之
<http://www.crossfinitiy.com.tw/>

【東京本社】

〒102-0081 東京都千代田区四番町 6
東急番町ビル 7F (受付 5F)
TEL: 03-5745-3838 FAX: 03-5745-3839
<http://www.crossfinitiy.co.jp/>

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンラインコンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は 2013 年 6 月 27 日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンラインのコンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776